

来週の市場とレート予想

	2/1(月)	2/2(火)	2/3(水)	2/4(木)	2/5(金)
無担保O/N			0.010% ~ 0.125%		
銀行券	+ 1,400	+ 1,000	+ 1,000	ト ン	ト ン
財政他	△ 700	△ 20,000	△ 46,000	△ 24,000	△ 2,000
資金需給	余 700	不 19,000	不 45,000	不 24,000	不 2,000
主な要因			法人税・消費税・保険揚げ	国債発行(10年) 交付税特会借入・償還	
オペ期日	共通担保(全店) △ 500 CP等買入 △ 300				
オペスタート	共通担保(全店) + 400				
(日本)	新車販売台数(1月)	マネタリーベース(1月) 日銀営業毎旬報告(1/31現在) 日銀が保有する 国債の銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	日銀金融政策決定会合 議事要旨(12月17,18日分) 日銀黒田総裁講演 日銀当座預金増減要因 (2月見込) 消費動向調査(1月)	対外対内証券売買(前週分)	日銀の対政府取引(1月) マネタリーベースと日銀の取引 (1月) 景気動向指数(12月) コール市場残高(1月)
(海外)	米 個人消費支出(12月) 米 ISM製造業景況指数 (1月) 米 建設支出(12月) 米 FRB副議長講演 米 大統領選、 アイオワ州党員集会	米 カンサスシティ連銀総裁講演 欧 ユーロ圏生産者物価指数 (12月) 欧 ユーロ圏失業率(12月)	米 ADP雇用統計(1月) 米 ISM非製造業景況指数 (1月) 欧 ユーロ圏総合PMI (1月、改定値) 欧 ユーロ圏サービス業PMI (1月、改定値) 欧 ユーロ圏小売売上高(12月)	米 労働生産性 (10-12月、速報値) 米 新規失業保険申請件数 欧 ECB経済報告 英 BOE金融政策発表、 四半期物価報告	米 貿易収支(12月) 米 雇用統計(1月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.010 ~ 0.140
SPOT 2M	0.010 ~ 0.155
SPOT 3M	0.010 ~ 0.160
SPOT 6M	0.010 ~ 0.170

<インターバンク>

当座預金残高は週初、254兆3,500億円であった。その後は、短国・国債買入を主に増加し週末は259兆3,000億円
で越週した。無担保コールON物の取引は、概ね0.074~0.076%で取引されたが、26日は試取りとみられる動きから
0.12%超で大きく出合い、加重平均金利は0.079%まで上昇した。月末となる29日はビッドレートが低下し、0.07%を挟
む水準で取引され、加重平均金利は0.066%となった。ターム物は、ショートタームで0.11%台後半の出合が見られた。
日銀は28・29日に開催した金融政策決定会合で「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し(賛成5反対
4)、今後は「量」・「質」・「金利」の3つの次元で金融緩和を進めていくこととした。マイナス金利の導入は2月16日からの
適用とし、当座預金を3段階の階層構造に分割し、プラス金利、ゼロ金利、マイナス金利を適用するとした。
来週の予定は、黒田総裁講演(3日)、海外では、大統領選、アイオワ州党員集会(1日)、米国雇用統計(5日)などが挙
げられる。

【オープン市場】

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.030 ~ 0.080
TDB 3M	▲0.200 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.050 ~ 0.100

<CP>

今週の入札発行額は約1兆5,200億円で、期落ち額約1兆5,000億円(金融機関・ABCP除く)と同程度であった。
a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.050%近辺~0.090%近辺を中心に推移した。
現先レートの中心は、0.050%~0.100%程度で推移した。
来週の期落ち額は約5,000億円程度となっている。

<TDB>

28日に国庫短期証券3M585回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0300%(前回債△0.0180%)、平均落札レートは△0.0356%(前回債△0.0212%)と
なり、前回分から利回りは低下した。セカンダリー3Mは△0.10%近辺での出合い。6Mは目立った出合いは見られず、1Yは△0.15%近辺の地合いとなった。来週
は4日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

足許GCは週初0.08%近辺の出合い。1月末受渡しとなる27日のSNでは、ネガティブレートから出合い始めたがレートは上昇、0.04%近辺での出合いも見られた。
28日のTNも引き続き0.04%前後で推移した。TDB3Mの発行日となる2月1日受渡しでは、SNで0.08%近辺に上昇。29日の金融政策決定会合では、2月16日から
準備預金に対してマイナス金利が導入されることが決定され、OFFER/BIDの気配がワイドな時間帯もあったが、0.00%近辺での出合いをつけ越週した。
SCは週を通して10年338回債がON物・ターム物ともにネガティブレートで推移した。5年債は122・125・126回債、10年債は321・325・332・333・335・338・339・340・

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資に
ついての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見
や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。